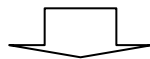


郡山保健所地域・職域連携推進事業

(大目標) 健康でいきいきと働き、退職後もこころ豊かな生活ができる健康づくりをめざす！！

目 標	平成 26 年度 の 取 組 み	課 題
<p>(小目標)</p> <p>① <u>職域における健康課題を明確にする</u></p> <p>② <u>関係機関の役割を再確認する</u> (各機関が行う事業に地域・職域の健康づくりにつながるもの)</p> <p>③ <u>継続して連携を図る(具体的な協同事業の検討)</u></p> <p>○検診受診率向上</p> <p>○生活習慣病予防対策</p> <p>《食事、運動、たばこ、歯と口の健康(歯周病予防) 出前講座の周知など》</p>	<p>①関係機関とのヒアリング実施(北和地域産業保健センター、奈良県労働基準協会奈良支部、昭和工業団地協議会、全国健康保険協会奈良支部、管内各商工会)</p> <p>◆関係機関の事業内容等について確認し、「地域・職域連携推進会議」の目的等を共有する。</p> <p>②昭和工業団地協議会での健康セミナー実施</p> <p>(平成 27 年 2 月 10 日 10 事業所 31 人)</p> <p>「健康になるなら！！働き盛り世代の健康づくり」</p> <p>・生涯を通じた健康づくり ・食事編 ・運動編</p> <p>③健康づくり啓発チラシの作成</p> <p>・健康診断の必要性、・健康づくりへの取組啓発</p>	<p>・職域と地域の連携については、必要性は理解されているが、制度、法律など異なるので、実際に協働して実施することは難しい。できることをみつけて継続していく工夫必要。</p> <p>・健康は意識されにくい、何かきっかけが必要、仲間づくり必要</p> <p>・商工会では、健康に関して、「啓発」はできると協力意向あったので、次年度に向けてリーフレット作成し、そのことをきっかけにして「健康に関する事業所の意識づけ」を行っていく。</p> <p>・健保協会としては、「データヘルス計画」等活用し、医療費削減、受診率向上に向けて、地域との連携を図りたい意向ある。</p> <p>・従業員の検診について、「義務づけの定期検診」「商工会案内の定期検診」「健保の生活習慣病、胃検診」「国保の特定健診」「市町村のがん検診」など、受診がわかりやすく提示していくことも課題。→保険種別により受診可能な検診が違う。</p> <p>・商工会として「一般健康診断」を実施されているが、どの商工会も利用者は、限られており、固定化している傾向にある。</p>



《取組の方針》

- 健康づくりに関する情報発信、啓発 ○各商工会への働きかけ
- 協働事業を工夫して実施 ○検診受診率向上 ○生活習慣病予防対策

平成 27 年度	<p>①課題の整理・・・データの分析、課題の掘り起こし</p> <p>②検診受診率向上に向けた取組み・・・啓発チラシの活用</p> <p>③健康セミナーなど協働事業実施・・・各商工会との協働</p>
----------	---